

食糧の安全保障

シリーズ③

農業農村の危機深まる

農業の「所得の向上」について政府の言う骨太方針では「収益力の向上の実現」を通じて図るとしています。農業者などに努力を求めているだけです。

農業者の労働賃金の実態は、21年当時1時間当たり10円という子ども小遣いにもならない酷いものでした。

24年産米で生産者米価が概算金で、コシヒカリ一等級60kg一万六千円と上昇しましたが、これについても、肥料・燃料等農業資機材の高騰で労賃の上昇はほんのわずかにすぎません。これは生活できません。

農業と農村の危機を招いたのは自民党政権の農業政策です。欧米諸国のように政府の責任で、手厚い価格保障・所得補償を行い農業所得を支える事が不可欠です。

農業を国の基幹的生産部門に位置付け、農林水産予算の抜本的な増額が必要です。更に米・麦・大豆・飼料用トウモロコシなど、主要穀類は最低でも一年分程度の備蓄を保持すべきです。

今まで、自民・公明政権は

健康情報

現代人に多い脂肪肝とは？ 予防対策は？

直接命にかかわる病名ではないからと、やや関心の薄い脂肪肝。

池田町の健康づくり講演会で行われた尾形哲医師（浅間総合）の話から少し抜粋してみました。

名前のとおり肝臓を作っている細胞の中に脂肪が溜まり、肥満・高血糖から糖尿病・心不全などを起こしやすい疾患です。

そこで予防は大きく2点です。①砂糖水をやめる。②体

絶対多数で横暴を押し通して今回の選挙で少数与党に大きく後退し、国民の声を聞かざるを得なくなりました。農業者・農村の声を集め運動を強め農業政策を変えていきましょう。

（浜田見 太田勅）

長野県母親大会

参加報告

第67回大会が諏訪市で行われました。長い歴史があるので、午前中は分科会、問題別集会で「食と農と環境」に出ました。

「食の安全は食料自給率を上げることを中心に食料、農業、環境問題を挙げ、今のままでは農業が危ない等問題点が出されました。講師が元学校の栄養士さんだったので、学校給食は「地産地消で」と「有機食品を」という運動が行われている話が出されました。

午後は講演会。講師は東京・中日新聞の記者「望月衣塑子氏」。有名人ですが、初めて聞いたのでビックリ。アメリカの大統領選の現地での取材の様子等々。とても早口でまるで機関銃のようでしたが、情熱が伝わってきました。

滝沢 村端徳子

読者の声

自民党が生まれ変わると言うのなら、まず裏金事件の全容を明らかにしなければいけない。脱税者は速やかに納税する。今後、企業団体献金は受けない。それから統一教会との繋がりが切れたことを国民が納得する内容で説明してもらおう。

次は憲法違反。武器輸出はやめて敵基地攻撃能力保有の閣議決定も撤回する。更に何十年かかるか見当もつかない辺野古の埋め立て工事はきっぱり中止する。

そして、原発のことも沢山あります。誰が総裁になっても悪政は続く。政権交代しかありません。

（吾妻町 西田良平）

文芸欄 今月は俳句です

メモ一枚人柄の見え秋日和
儂きや付かず離れず秋の蝶
温暖化菊の開花も急ぎたり

幸代
美ちこ
由美



いよいよ大激動の時代に

「総選挙の結果について

10月27日投票の総選挙でのご支援ありがとうございました。

総選挙全体では、自公が過半数割れする大敗北を喫しました。裏金政治、暮らしの破壊、軍事一辺倒の外交不在、等々の自民党政権に国民の厳しい審判が下されました。

自民党を追い詰め、政治に大激動をもたらしたのは間違いなく日本共産党の論戦と「しんぶん赤旗」のスクープでした。特に、選挙終盤には裏金非公認議員への2000万円支給をスクープしたことは、大きな貢献となりました。

長野県でも、自民党は小選挙区・長野2区に加え、長野1区



田村委員長の見聞

・3区でも議席を失うとともに、自民党の比例得票は前回総選挙から11万5千票減となりました。今世紀最低の得票数になりました。

日本共産党は、池田町では比例代表で得票数567票、得票率11.96%で全県で第3位となりました。

ファンクラブ読者の皆様のお力添えに感謝申し上げます。比例・北陸信越ブロックでの議席奪還に全力をあげましたが、藤野やすふみ元衆議院議員の議席奪還を果たせずとも残念です。

藤野さんは能登半島地震発生直後に、関係者と共同支援センターを立ち上げ、責任者として被災者支援の先頭に立ってきただけに私たちの力不足を反省します。

来年7月には参議院選挙が行われます。今から力を蓄え、活動を強めていきたいと決意しています。（日本共産党池田支部）

12人の裏金議員

自民党の役職に

自民党は15日の総務会で、選対委員会などの党役職者の人事の報告を行いました。情報調査局長に佐々木紀衆議院議員が就くなど、自民党が行った聞き取り「調査」で2018〜22年の5年間で裏金づくりを認めている衆参両院の裏金議員12人を党の役職に起用しました。

裏金事件を最大争点の一つとした衆院選で自公過半数割れの結果をうけてもなお無反省ぶりを示すとともに、金権腐敗の自民党政権の行き詰まりは深刻です。

今年も 正月用食品の取り扱いを行います

品名は、有田みかん、北海道昆布、豊橋のかまぼこです。注文表を作成し希望される方のお宅へお届けしますので、役員まで連絡いただきたく、よろしくお願い致します。

注文締め切りは、12月10日、お届けは12月20日頃になります。ファンクラブ役員一同

コラム 有明

自民党総裁選と同様に連日報道された米大統領選は、史上稀にみる大接戦と予想が見事くつがえされた▼「アメリカ・ファースト」「米国を再び偉大に」と叫び、人をあしざまに罵るトランプ氏の姿が世界中の人に深く印象付けられたのではないだろうか。気候危機をはじめ、国際秩序に関する事は関知せず自らの言い分を押し付ける、人格的欠陥があるのではとも思わせる彼の今後の動向に日本をはじめ世界中が戦々恐々としている状況だ▼さて、石破政治が動き出したが少数与党に国民民主党がすり寄った。早速浮上した国民民主が主張した「103万円の壁」の引上げの件だ▼税負担を軽減することは共産党をはじめ他党も主張している。しかしその財源をどこに求めるのか、遺憾ながら選挙戦を通じてまともに財源を明らかにしたのは共産党のみであった▼国民民主の主張は、減税で消費が上向き、企業も潤い結果税収も増えるというのである。他の予算を削らずにいかにか財政出動するのか、大企業優先、軍事強化の路線を見直さない限り国民を苦しめることは明らかだ▼将来を展望した政策の持てない政党と次期参院選ではきっぱり対決したい。